

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/joseikatayaku/ladygp/f-net.html>

福井県とお茶の水女子大学が共同で作成・実施する女性リーダー育成研修プログラム「未来きらりプログラム」。29年度の研修最終回となる2月の講義では、1年間の研修の集大成として、企業リーダーコースは「ビジネスプラン発表会」、製造業リーダーコースは「実践計画書」の作成に取組みました。

企業リーダーコースは「ビジネスプラン発表会」に向けてラストスパート

12月20日(火)



講義「プレゼンテーション技術」



講師：一般社団法人日本経営協会 専任講師 加藤 奈穂子氏

プレゼンテーションの成功例と言える企業PR動画をもとに、「プレゼンテーション技術」を学びました。良いプレゼンテーションとは、「イメージしやすい」「印象に残る」「分かりやすい」ものであり、情報量の多さが良いプレゼンテーションに直結するわけではなく「ターゲット」と「明確かつ簡潔な提案」、また、プレゼンを飽きずに最後まで聞いてもらうための「聴かせかた」が重要であることが分かりました。ビジネスプランを提案するにあたっては、内容とパフォーマンスの両方を兼ね備える必要があると学びました。

(担当：竹下、加畑)



1月17日(火)



講義「プレゼンテーション実践」



講師：一般社団法人日本経営協会 専任講師 加藤 奈穂子氏

いよいよ2月の発表に向けたプレゼンテーションの実践を行う日となりました！まずリハーサルの前に、先生から話し方などのプレゼンに必要なことを学びました。

実際に発表してみると、自分たちでは気付かなかったご指摘やアドバイスをいただき、反省する点も多々ありましたが、発表会に向けてチーム一丸となつてがんばろう！という思いが強くなりました。また聞き手となって他の班の発表を拝見すると、話し方や声のトーンで説得力に差が生じることも改めて実感しました。私たちが伝えたいことをしっかりと伝えられるようなプレゼンになるようしっかりと準備していきたいと感じました。

(担当：川島、朝井)



各班の発表テーマ

- 1班／「美の海 福井」～海からの恵みで真の美と健康を手に入れよう！～
- 2班／「お魚デリで食卓革命」～旬の魚を身近に手軽に～
- 3班／ 福井のお魚コミュニティ「海のマルシェ」
- 4班／「#fukufish」～福井の地魚を世界にアピール～
- 5班／「親子でエンジョイ クッキング」～皆ではぐくみ育てる 福井の宝～



ビジネスプラン発表会『福井のお魚のブランド力をUPさせよう!』

平成29年2月24日(金) 福井県生活学習館 多目的ホールにて『福井の地魚を使ったビジネスプラン』をテーマに私達の1年間の研修成果を披露するビジネスプラン発表会が開催されました。第9期ふくい女性ネット会長 幸谷典子さん(社会福祉法人町屋福祉会)、福井県総合政策部ふるさと県民局竹内局長のあいさつから始まり、株式会社電通 林信貴氏を含む7名の審査員を迎え、それぞれの班の発表が始まりました。

福井の魚という差別化が図りにくいお題でしたが、お揃いの衣装で登場したり、手作りの小道具も披露したりと、内容にとどまらず、見ていて楽しいプレゼンテーションになりました。発表待ちの間、スタンバイしている各班からは緊張感がひしひしと伝わり、会場内は普段の生活ではあまり味わえないような独特の空気に包まれていました。実際始まってみると笑いもありの有意義な時間でした。各班発表後の質疑応答では、審査員の方々からいただいた質問に対し、堂々と答える姿がありました。5つの班それぞれが様々な切り口から、福井のお魚について考えた日々…。メンバーも自然とお魚を食べる機会が増えました。さて、そんな中、見事1位・2位に輝いたのは・・・



#fukufish ～福井の地魚を世界にアピール～

グループワークは、できるだけ集まる回数を抑え、毎回爆笑の中でも集中して取り組みました。メンバーからは『監督』と呼ばれ、私の無茶ぶりに最初はアウェー感満載でしたが、最後には快く?! 対応してくれました。チーム力で1位になれたことは、監督冥利に尽きます!

(鯖江市 服部)

ふくい お魚カレッジ ～皆ではぐくみ育てる ふくいの宝～

メンバーに恵まれて皆のおかげでパワーポイントが出来上がった時は嬉しかったです。集まった回数は少なかったですが一人一人が課題をしっかりこなしてくれてなんとか出来上がりました。2位をとれてビックリしました!! 非常にうれしかったです。ありがとうございました。

(マイランE P D合同会社勝山事業所 牧野)



みんなで何度も集まり意見交換を重ね頑張りました。無事に発表も終わり、ほっとしました。ありがとうございました!



全てを出し切りました。忙しい中皆が集まって夜遅くまで頑張ったことは、強い絆となりました!



メンバーの皆のおかげで、打ち合わせも発表も楽しくワクワクした気持ちで最後までやり遂げることができました。ありがとうございました!

(担当: 林、酒井)

編集後記

今回のテーマは「福井の地魚」ということで、同じようなプレゼンになるのではないかと心配しましたが、各グループそれぞれが個性を発揮し、発表にも独自の工夫をこらしたことで、バラエティ豊かで楽しい発表会となりました。また、今年はいかに効率よくプロジェクトをすすめていくかも課題でした。限られた時間のなかで効率よく作業をすすめるように工夫したつもりです。ここで学んだことは、仕事や家庭で必ず活かせると思います。ありがとうございました。

(担当: 加畑、坂井、森)

製造業リーダーコースは「ものづくりスキルアップ講座」後半戦！

12月16日(金)



ものづくりスキルアップ講座④



「ものづくりの中核人材になるー問題発見・解決能力の向上ー」

講師：一般社団法人中部産業連盟 マネジメント開発部 部長 杉藤 里美 氏

「現場改善の進め方」

講師：公益財団法人ふくい産業支援センター 人材育成部 ものづくり改善インストラクター
福井ものづくり改善インストラクタースクール統括責任者 窪田 正明 氏



ものづくりにおける問題発見とその解決手順について学びました。各自が抱えている問題を「ブレインストーミング」で出し合いましたが、思わずプツと笑ってしまうようなことや、「あるある」と共感する内容など様々でした。その中で何を問題と捉えるかの判断基準は、「お客様、或いは後工程にとって価値があるのか、ないのか」であり自分本位で考えないこと、問題を整理し問題の本質を捉える力を身に付けることが大切だと学びました。また、現場改善を進めるには、まず現状を分析することがポイントであり、実際に作業風景をビデオ撮影し客観的にみて分析する方法などをご教授いただきました。前回の講義後、自分の職場内でのムダについて話し合い、問題点が幾つか挙がったので、できることから改善を進めていこうと感じました。(担当：山崎)

1月6日(月)



ものづくりスキルアップ講座⑤



「現地研修(2) 県外企業」

講師：一般社団法人中部産業連盟 マネジメント開発部 部長 杉藤 里美 氏

1社目：トヨタ自動車株式会社

事業内容：自動車生産・販売 組立工場
従業員数：348,877名 (内 同工場製造 4500名)

あらゆる企業において取り入れられているトヨタ生産方式ですが、今回組立工場の現地視察をさせていただき、改めて自動化の重要性を感じました。

生産性を高める為の合理化はもちろん必要ですが、人間は機械ではない。オートメーション化が進んだ中でも従業員のアイデアから生まれた仕組が随所にみられ、流れ作業の中で効率を考えられる従業員を育てる環境、それを形にして生産性を更に上げる事に前向きな企業は素晴らしいと思いました。“自”発的に“働”きたいと思える人材を育てる事のヒントを得られたと思います。

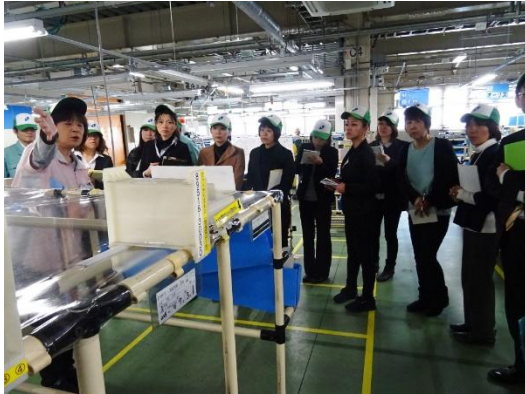
(担当：加藤)



2 社目：株式会社ジーエスエレクトック

事業内容：リザーバをはじめとする自動車用電装部品の製造・販売
従業員数：854名（正社員650名 内 女性53%）

工場はとても綺麗で安全な職場だと感じました。改善活動などの掲示物は綺麗に「見える化」されておりました。特に夢工場MAPでは社員の方々の「こうなったら良いな」という意見が、内容によって色分けされており、見えやすい掲示方法として勉強になりました。



製造現場では女性リーダーのもと、活き活きと働いている社員の方々にお会いすることができました。

一番印象に残ったのは欠勤対応専門のリリーファーさんがいっぱいいらっしゃる事です。女性は育児中に急遽休むことも多いので、バックアップできる体制づくりが必要です。欠勤者がいない場合は女性ならではの細やかな目線で改善対応をされると伺いました。私も女性が安心して笑顔で明るく活躍できる職場づくりに取り組んでいきたいです。（担当：森本）

2月8日（水）



ものづくりスキルアップ講座⑥



「研修での学びを活かす『実践計画書』の作成」

講師：一般社団法人中部産業連盟 マネジメント開発部 部長 杉藤 里美 氏

前回までの講義で、自分の会社全体や担当業務の中で問題を見つけ出し、改善に向けた取り組みのテーマを決め、各々が自社で取り組みに必要なデータを集めてきました。

今回の講義では、「魚のほね」と称される特性要因図の作成や系統図を学んでから、目標を設定し、対策やスケジュールを立てて、半年間の集大成として『実践計画書』を仕上げました。最後に行った発表では、皆さん、あがること無く堂々と自分の考えを発表していました。先生からの確かなアドバイスも頂けたので、すぐにでも実践していけそうです。

「ものづくりスキルアップ講座」では、毎回、講義中にたくさん意見や質問が飛び交い、楽しく学ぶことが出来ました。これから女性リーダーとして step-up 出来るよう、学んだことを職場で活かしていきたいです。（担当：大西）



編集後記②

1年間の研修で、県内外の企業の製造現場を見学する貴重な機会を頂き、この研修コースに参加しなければ見えなかった自社改善の気づきや手法を学ぶことが出来ました。また、参加メンバーから毎回活発な意見やそれぞれの自社への熱い想いを伺う度、県内製造業に携わる女性はこんなにも魅力的なのかとワクワクする時間になりました。

今後、更に素敵な“ふくいものづくり女子”がどんどん増えることに期待し、自分も更に頑張りたいと思います。（担当：郷）

ふくい女性ネット（第9期）参加企業 — ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業 —

株式会社アイル
株式会社ウララ・コミュニケーションズ
株式会社米五
株式会社ジャルダン
有限会社すのうどろっふ
株式会社日本オカダエンタープライズ
福井県国民健康保険団体連合会
公益財団法人ふくい女性財団
福井鋸螺株式会社
北陸電力株式会社福井支店

株式会社岩崎機型
株式会社エイチアンドエフ
坂井市
株式会社信越マグネット
株式会社西友
日本商運株式会社
福井県庁
学校法人福井仁愛学園
フクビ化学工業株式会社
マイラン EPD 合同会社勝山事業所

株式会社ウオンツ
小浜製網株式会社
鯖江市
社会福祉法人新清会
日華化学株式会社
福井キャンノン事務機株式会社
福井県民生活協同組合
国立大学法人福井大学
株式会社ふじや食品
社会福祉法人町屋福祉会

株式会社ウオンツ・ジャパン
社会福祉法人敬仁会
株式会社三栄商会
株式会社 SHINDO
株式会社日本エー・エム・シー
株式会社福井銀行
福井商工会議所
福井経編興業株式会社
株式会社 PLANT
株式会社ヤササキ

（40社 50音順）